

ノハナショウブ

Iris ensata Thunb. var. *spontanea* (Makino) Nakai ex Makino et Nemoto
アヤメ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

従前はしばしば見られた種であるが、湿地環境の消失に加え、園芸採取により減少した。

分 布

北海道から九州に分布。県内全域に散見されるが、自生地は局所的である。

種の特徴

草地や湿地に生える多年生草本。葉は長さ30～60cm、幅0.5～1.2cm、目立つ中脈がある。花期は6～7月。花茎は高さ40～80cm、花は赤紫色、外花被片に淡黄色の斑点がある。蒴果は楕円形、長さ2.5～3cm。

生育を脅かす要因

湿地開発、園芸採取。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○		○		○				○	○	○	○		○	○	○

ヒメシャガ

Iris gracilipes A.Gray
アヤメ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

分布域に限られる。花が美しく、園芸採取の対象になりやすい。

分 布

北海道から九州に分布。県内では嶺北と嶺南の一部の地域に生育している。

種の特徴

林内に生える多年生草本。葉は長さ20～40cm、幅0.5～1.5cm、冬に枯れる。花期は5～6月。花茎は15～30cm、花は淡紫色、直径約4cm。外花被片には紫色の脈と黄色の斑点がある。蒴果は球形、直径約8mm。

生育を脅かす要因

園芸採取、森林伐採、道路工事、自然遷移。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○		○					○				○	○	

カキツバタ

Iris laevigata Fisch.
アヤメ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

生育地に限られる。中には群生し、保護されている所もあるが、湿地や河川の開発に加え、園芸採取により激減した。

分 布

北海道から九州に分布。県内では、嶺南の一部の地域、及び嶺北の数箇所で見られる。

種の特徴

湿地に生える多年生草本。葉は長さ30～60cm、幅2～3cm。花期は5～6月。花茎は直立し、高さ40～70cm、花は青紫色、外花被片の中央に白斑がある。蒴果は長さ4～5cm。アヤメやノハナショウブよりも水辺を好む。

生育を脅かす要因

園芸採取、湿地開発、河川工事。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○					○									○	○	○